

第1回あま市健康づくり計画策定委員会

日時 平成28年3月28日（月）

午後2時より

場所 あま市甚目寺総合福祉会館

1階 会議室

事務局：それでは定刻となりましたので、ただいまから第1回あま市健康づくり計画策定委員会を開催いたします。

本日の健康づくり策定委員会はあま市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条に基づき公開で開催いたします。また、当要綱第7条に基づき、本日の委員会の会議録を作成し、市のホームページに掲載することとなっておりますのでご承知ください。

委員会を進行していく上で、皆様をお願いしたいことがございます。携帯電話をお持ちの方、電源をお切りになるか、マナーモードにさせていただきようよろしくお願いしたいと思います。

なお、本日ご都合が悪いとのご連絡がありました鹿島委員、佐藤委員はご欠席でありますので、あらかじめご報告させていただきます。

また、机上に置いてあります資料でございますが、事前にお配りいたしました委員名簿に一部修正がございました。差し替えをお願いするとともに、策定計画の基本的な考え方、健康づくり計画策定スケジュールを追加資料として配布をさせていただいておりますのでよろしくお願いします。資料に修正があったこと、事前にお渡しができない資料があったことをお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

それでは、次第に従いまして村上市長よりご挨拶を申し上げます。

1 市長あいさつ

村上市長：皆さん、改めましてこんにちは。ご紹介いただきましたあま市長の村上です。

皆様方におかれましては大変お忙しい中でございますけれども、あま市健康づくり計画策定委員会、また、委員をお引き受けいただきましたことに対しまして、深く感謝を申し上げたいというように思っております。

この策定委員会は、あま市の総合計画に基づきながら、心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちを目指しております。そのような関係で、市民の健康づくりを支援し、また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を見つめていただく、そして若い世代からの心疾患や脳卒中、そして糖尿病などの生活習慣病を予防していただくこと、そして、医療や介護にかかる費用の削減、または節減、節税など

をしていくこと、そして健康寿命の延伸をはかること、このようないろいろなさまざまな目的をおしながら計画を策定するものでございますので、皆様方におかれましてはそれぞれのお立場でご意見をいただきながらよりよいものを策定していただきたいというように思っております。

今回お集まりいただいた皆様には、市内の医療福祉関係の方々、またはスポーツ関係、健康づくり、そして、教育関係者または食に関するの方々、皆さんにお集まりいただいておりますので、忌憚ないご意見をいただきながら市民一人ひとりのライフスタイルにあった健康づくりや食生活を支援ながら、家庭や地域、そして行政などの関係機関が連携する体制をつくっていかねばいけないということもでございますので、この整備のための計画を策定していくものでございます。どうかよろしく願い申し上げ、簡単ではございますが私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

事務局：ありがとうございました。ここで大変申し訳ございませんが、市長は他の公用のため退席をさせていただきます。

村上市長：大変申し訳ございませんがよろしくお願いします。

（市長退席）

事務局：では、以降、着座にて進行をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。最初に資料の確認をお願いしたいと思います。

（資料確認）

事務局：では、続きまして、委員の皆様のご紹介をお手元の配席図によりさせていただきます。

配席図右側より市議会厚生委員会委員長加藤正委員。

加藤委員：よろしくお願いします。

事務局：医師代表富田悦充委員。

富田委員：お願いします。

事務局：歯科医師連絡協議会代表渡邊剛委員。

渡邊委員：渡辺です。よろしくお願いします。

事務局：薬剤師代表堀田豊弘委員。

堀田委員：堀田です。よろしくお願いします。

事務局：続きまして社会福祉法人あま市社会福祉協議会会長服部章平委員。

服部委員：服部です。よろしくお願いします。

事務局：本日はご欠席であります。小中学校会会長鹿島輝夫委員。

続きまして、津島保健所所長増井恒夫委員。

増井委員（代棚理橋）：代理でまいりました棚橋と申します。よろしくお願いします。

事務局：左側の席に移りまして、スポーツ推進委員会委員長石塚健伸委員。

石塚委員：あま市スポーツ推進委員長の石塚です。どうぞよろしくお願いします。

事務局：本日は欠席ですが、農業委員会職務代理・副会長佐藤薫委員。

続きまして、愛知県健康づくりリーダーあま市代表福田利律子委員。

福田委員：福田です。よろしくお願いします。

事務局：老人クラブ連合会会長阿部紀男委員。

阿部委員：安倍です。よろしくお願いします。

事務局：すみません、前後してしまいました。食生活改善推進員連絡協議会会長市川千春委員。

市川委員：市川です。よろしくお願いします。

事務局：女性の会会長村上千代子委員。

村上委員：村上です。よろしくお願いします。

事務局：福祉部子育て支援課保育士長菱田洋子委員。

菱田委員：菱田です。どうぞよろしくお願いします。

事務局：なお、任期でございますが、あま市健康づくり計画策定委員会要綱第5条によりあま市健康づくり計画の策定が終了するまでとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、事務局の紹介をします。横田市民生活部長。

横田市民生活部長：横田です。どうぞよろしくお願いします。

事務局：続きまして健康推進課北岡課長補佐。

健康推進課北岡課長補佐：北岡です。よろしくお願いします。

事務局：本日は欠席でございますが、河原保健師が事務局として入っております。

続きまして水谷歯科衛生士。

水谷歯科衛生士：お願いします。

事務局：植田保健師。

植田保健師：よろしくお願いします。

事務局：鈴木管理栄養士。

鈴木管理栄養士：よろしくお願いします。

事務局：そして今回、あま市健康づくり計画の策定を委託しております名豊コンサルティング株式会社大川さんです。

コンサル：大川です。よろしくお願いします。

事務局：最後になりましたが私、健康推進課主管の小野です。委員の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

なお、健康推進課課長の片岡でございますが、病氣療養中のため欠席させていただくことをお伝えしておきたいと思います。

それでは議題に入らせていただきますが、今回は第1回目の委員会でございます

ので委員長が選出されるまで事務局において議事を進行させていただきますので
よろしくお願いいたします。

2 議題

(1) あま市健康づくり計画策定委員会委員長の互選について

事務局：それでは、議題(1)あま市健康づくり計画策定委員会委員長の互選について、を
議題とします。委員長の選出につきましては、あま市健康づくり計画策定委員会
要綱第6条の規定により、委員会に委員長および副委員長を委員の互選によりこ
れを定めとなっております。

まず、委員長ですがいかがでしょうか。

富田委員：市議会厚生委員会委員長の加藤正委員を推薦したいと思います。

事務局：ただいま委員長に市議会厚生委員会委員長の加藤正委員という発言がありまし
たがこれにご意見はございませんか。

(一同 異議なしの声)

事務局：異議なしと認め、委員長は市議会厚生委員会委員長加藤正委員に決定しました。

加藤委員、委員長席へ移動をお願いします。

それでは委員長より就任のご挨拶をお願いします。

加藤委員長：この度、あま市健康づくり計画策定委員会の委員長として重責を担うこと
になりました。今後、あま市健康づくり計画を策定するにあたり、委員の皆様と
一緒に協議をしていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。また、
委員長職は不慣れでございますので、皆様の協力を得て議事進行を進めていき
たいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。以上でご挨拶にかえさせてい
たきます。

事務局：ありがとうございます。それでは委員長が決まりましたので、以降の議事の
進行につきましては加藤委員長にお願いしたいと思います。

(2) あま市健康づくり計画策定委員会副委員長の互選について

加藤委員長：それでは議事の進行をさせていただきます。議題(2)あま市健康づくり
策定委員会副委員長の互選についてを議題といたします。副委員長の互選につ
きましても先ほどと同様、委員の互選によることとなっておりますので、副委員
長の互選につきましてご意見のある方、よろしくお願いします。

堀田委員：医師代表の富田悦充委員を推薦したいと思いますがいかがでしょうか。

(一同 異議なし)

加藤委員長：異議なしと認め、副委員長は医師代表の富田悦充委員に決定いたしました。

それでは富田委員、席の移動をお願いします。

富田副委員長が席につかれましたので、副委員長のご挨拶をお願いします。

富田副委員長：ご推薦いただきました富田です。よろしくお願いします。職責を一生懸命全うしたいと思いますので、どうぞお願いいたします。

加藤委員長：ありがとうございます。

(3) 計画策定の基本的な考え方

加藤委員長：続きまして(3)計画策定の基本的な考え方についてを議題といたします。

事務局より説明をよろしくお願いします。

事務局：(説明)

加藤委員長：ありがとうございます。ただいま事務局より説明がありました。何か委員の皆様からご意見等ございましたらよろしくお願いします。

ご意見が無いようですので、議題(4)に入ります。

(4) アンケート調査結果について

加藤委員長：議題(4)アンケートの調査結果について事務局より説明させていただきます。よろしくお願いします。

事務局：(説明)

加藤委員長：ありがとうございました。ただいま事務局より説明等がございましたけれども、委員の皆様、何かご意見がございましたらよろしくお願いします。

渡邊委員：歯と口腔についての項目で95ページですが、関連性があるだろう「誤嚥性肺炎」やあるいは「知らない」という人、「知らない」ということそのような人は我々のいわゆるPR不足だと思いますので反省をしなければと思います。すみませんでした。95ページのところの間39でございますけれども、歯と口腔の健康との関連を知っているかという部分ですが「誤嚥性肺炎」だという、ここの中でも「がん」という言葉は口腔のがんで、この市の検診の中でも成人健診の中でも、「口腔がん」という表現はしませんでしたけれど、粘膜疾患というような表現にさせていただきました。口腔がんというだけで嫌悪感を感じるのではと思います。まずここ1、2年は口腔粘膜疾患というようなかたち、だから、粘膜に少し異常がある、或いは粘膜ですから舌もそうです。或いは口峽、のどちんこのほうにもあるということで、粘膜、舌などそのようなところにも「がん」というものはありますから、そのようなかたちでここ去年から導入をしてきているというような状況でございます。非常に表記は難しいですけれども、同じ粘膜ですから、いわゆる食道にしても、粘膜を大切にするという意味で、また「がん対策」と、愛知県のほうでもこれを「がん対策」というようなことも言っておりますから、かえってそのようなやり方でさせていただく、それが今回このような表現としても

ここへ座らせていただいた、何気なく「がん」というと、お口と他の「がん」との関連、それもあるかもしれませんが、そのようなものだという理解をしていただくとよいかと思います。以上です。

加藤委員長：ありがとうございます。他に委員の方からご意見、質問でもよいと思いますけれども、ありましたらお願いします。

渡邊委員：内容を端折ってという、ここに参画した人はスッと興味が出そうな感じがすけれども、やはり市民がこの情報がどのようなかたちでわかりやすく伝わっていくかということも考えていかなければいけないかと。その場合に、やはりどのような表現方法、伝達方法をとられるかと。このように図表で表現をわかりやすくすることもありますし、強調したいところもあると思います。一度そのようなところを考えた上で、市民の調査をされた人が、それに参加した人はもちろんこのようなものが皆さんに参加・協力してくれたと言って伝達してあげるのももちろんですけど、市民みんなにもこのような状況だということをお知らせするには、何が一番効果的かということも考えた上で一度やっていただきたいと、このようなことを思っています。

加藤委員長：ありがとうございます。他にご意見ございますか。

富田副委員長：これはすごくよいアンケートだと思います。これは、65 歳以上の老人というのは健康なのです。これを見ると健康の自覚がすごいです。素晴らしいです。このような自覚をもっと若い人たちに持っていかないと、年寄りはそのなにくさん生きても仕方がないから、健康寿命をのばすためにも若い世代がこのような感覚を、いわゆる我々年寄りの感覚を伝承してもらいたいと。計画の中に、そのようなものを具体的に入れたらどうかと。これを見たら結構年寄りも長生きするはずですよ。ざっと見て、間違いなく長寿国家だと思います。だから、そのようなポリシーを若い人にも伝承してほしいというPRはどうかという感じがしました。

加藤委員長：ありがとうございました。他にご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは私のほうから1点よいですか。前回、アンケートをとられましたときに、4,000 部というかたちで多分とったと思います。今回は 3,000 部ということになっているのですが、そのあたりはどのようなお考えで 1,000 部減らしたのですか。

事務局：今回は総合計画に相乗りをいたしまして、他の計画も加味されておりましたので 4,000 部ということでありましたが、今回はこの人口からいって、内容で特にこの数字ということはないのですが、3,000 人あればほぼ有効回答がもらえるのではないかとということで 3,000 人で無作為抽出させていただいております。

加藤委員長：ありがとうございます。データの的には影響がないということのご返答だと思います。あと1点よろしいですか。できれば前回とったデータと今回とられたデータ、悪いところなどがパッと見てわかるようなかたちにさせていただきたいの

ですが、そのようなことはできますか。

事務局：来年度、また策定委員会を引き続き開催させていただくのですが、計画を策定する時点におきまして、前回の数値、それから今回の現状値、それから県との比較という数値で、あま市がどのレベルにあるかというところを比較していただけるような資料を準備させていただこうと考えております。

加藤委員長：ありがとうございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。それではただいまの件、ご意見はありませんか。無いようですので（５）算定のスケジュールについて議題に入りたいと思ひます。事務局より説明をよろしくお願ひします。

（５）策定のスケジュール

事務局：（説明）

加藤委員長：ありがとうございます。ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、質問がありましたらお願ひします。ございせんか。意見もございせんので、以上をもちまして本日の議題はすべて終了させていただきます。

それではその他のほうに入りますけれども、事務局のほうから何かございましてらよろしくお願ひします。

３ その他

事務局：事務局からになります。特にはございせんが、次回の策定委員会の開催でございます。先ほども説明いたしました通り、スケジュールに基づきまして、５月の下旬頃ということで本日と同じこの場所で開催を予定しております。また日時が具体的になりましたら皆様のほうにご案内を差し上げることいたしますのでよろしくお願ひしたいと思っております。以上でございます。

加藤委員長：ありがとうございます。

渡邊委員：一応、会議はここでしめるのですが、やはりあのところ少し、という思いもあるかと、ここ１週間くらいならだいたい自主的な、忌憚のない意見だったら持ち帰ってもよいかと、それは、その決済については委員長さん、副委員長さんにお願ひをするのですが、それを少しく足しながら、それが健康的な運営ではないかというようなことを思ひます。

加藤委員長：渡邊委員からご意見がございまして。この場ですぐ云々ということはよくないのではないかとということで、１週間くらいの間でまた今日は資料がたくさんありましたので、目をしっかりと通していただきまして、ご意見等がございましたら、事務局のほうへ打診していただければよいかと思ひますので、そのようにお願ひします。他によろしいですか。よろしいですか。それでは今日の委員会はこれで終了したいと思ひますが、また５月に開催予定の案内を出しますけれども、

やはり皆様方にいろいろなご意見をいただきたいものですから、資料等を事前に配布すると思いますので、目を通していただきまして、1人ひとりご意見を言っていただくように次回からしていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。